

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	岩井屋こども館 発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 12日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 12日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数編成のため、手厚い対応をしています。	一対一の関わりの中で、個人に合ったペースや対応をしています。	お子さんの状況に合わせて必要な対応を行います。
2	言語聴覚士・作業療法士と保育士がチームとなり、筋力、体幹、体の使いかた、言葉の発達をサポートしています。	一人一人にじっくりと向き合い、「楽しい」「出来た」経験を重ね自信に繋がっています。	興味のあるもの、出来ることを強みにして次に繋げていきます。
3	広い園庭と広い園内スペースを使って思いきり身体を動かすことが出来ます。鉄棒、三輪車、ストライダー、冬はそり遊びができます。屋内ではボールプール、ポルダリング、トランポリンなどが出来ます。	お子さんの自主性を大切に、いろいろな経験につながるよう、遊びや遊具などを提供しています。	お子さんが興味をもてる遊びや活動を提供します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者どうして交流する機会がない。	ほとんどのお子さんが平行通園であること。	曜日が固定されているため、なかなか揃う機会もないが保護者の要望があれば検討はしていきたい。
2	SNS、ネットでの情報配信が遅れています。	必要なニーズの把握ができていないこと。	情報発信に向け、必要な情報を収集します。
3			